

# 双ヶ丘中だより



京都市立双ヶ丘中学校 9/5 第14号 文責 林

学校教育目標 「心豊かに探究心をもち、未来へ歩み続ける生徒を育成する」

## 教育実習

8月27日（月）から教育実習が始まりました。今年は、谷口 歩先生が来られています。教科は美術、クラスは1年1組を担当していただきます。8月27日（月）の朝学活時に放送で全校生徒にあいさつをしてもらいました。元気な声であいさつされ、先生の前向きな気持ちを感じられました。生徒の皆さんも気軽に声をかけたり、話しをしてください。期間は、9月14日（金）までの3週間です。ちなみに9月14日（金）は、体育大会です。充実した実習になることを願っています。

## 台風接近に伴う臨時休業

9月4日（火）は、台風21号の接近に伴って臨時休業の措置を取りました。6月18日（月）の大阪北部地震に伴う臨時休業、7月6日（金）の西日本豪雨に伴う臨時休業に続いて、今年度3回目の臨時休業になりました。

改めて自然の驚異を感じます。一方で、人間は「自然は人間の力でコントロールできる」という思い上がりに近い考えが被害を大きくしているのではないかと感じます。自然をコントロールするのはたやすいことではないのです。人間も自然の一部という思いをしっかりと持ち、自然環境を守る必要があるのです。最近の新聞に世界の海にプラスチックのゴミが浮遊して、クジラなどの生物が犠牲になっているという記事がありました。便利さばかりを追求して、自然環境を守ることを怠れば生態系の破壊につながり、まわりまわって人間にも大きな被害が出てきます。立ち止まって、自然と人間の関係を見つめ直したいものです。

## ノートから伝わるもの

最近の新聞に、第二次世界大戦の終戦前後に大学で地質学を学んだ方のノートについての話題が載っていました。戦中や戦後のためにノートの紙質は悪いのですが、ノートには克明に授業の内容が記されています。ノートのあちらこちらに丁寧な図やグラフも書かれています。授業中に取ったメモを元に、後に書物も参考にして、じっくりと時間をかけて書き直したようです。記事を書いた記者は、ノートを書いた学生の学ぶことへの敬意が強く伝わったと感想を述べています。学ぶ環境が現在と比べて劣悪にもかかわらずきれいなノートを残した学生の学ぶ意欲が感じられます。

翻って、現在。もう一度「学ぶこと」について考えてほしいものです。なぜ学ぶのか、何のために学ぶのか、自主的に学ぼうとしているか、与えられた問いだけを解こうとしていないか、自分で課題を発見して課題を探究、解決しようとしているか等々。自分自身に問いかけてください。そして、学びについての姿勢や意欲を高めてほしいものです。

## 体育大会・文化祭

体育大会・文化祭が近づいてきました。以下の日程で実施しますので、保護者の皆様におかれましては、お忙しいとは存じますが、生徒の日頃の学習活動の成果をご覧いただき、声援や激励をいただきますようご案内いたします。

- （体育大会） 9月14日（金）8：45～ 於 本校グラウンド （予備日は9月19日（水））
- （文化祭） 10月11日（木）展示発表・ステージ発表 於 本校
- 10月12日（金）合唱コンクール・ステージ発表 於 森田記念講堂（京都外大）